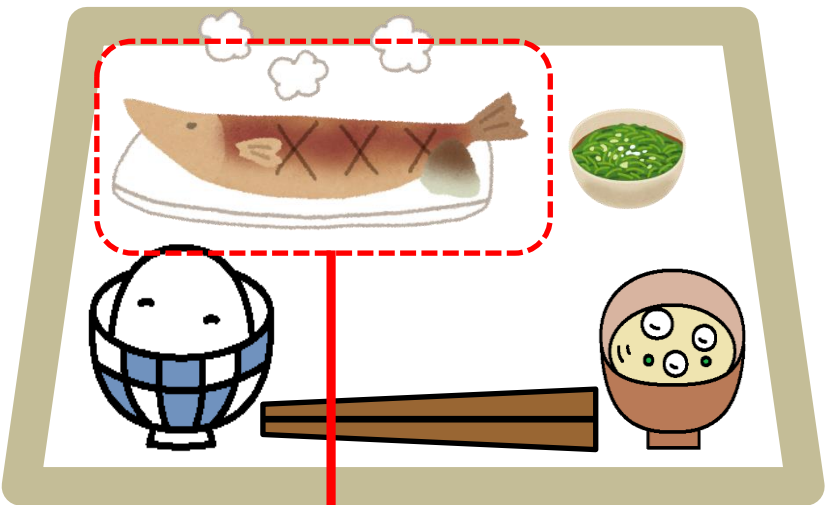
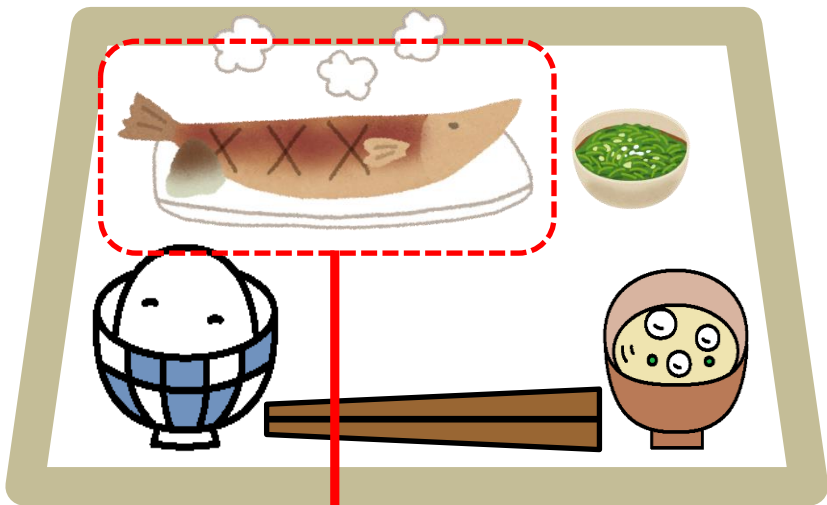


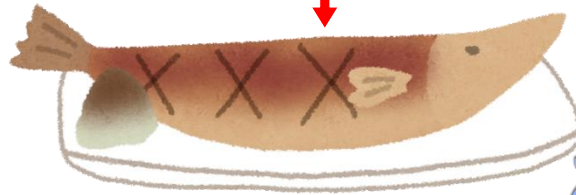
マナーをまもると
おいしいね。



ひだり
が
あたま



みぎ
が
あたま



ぽんぽんニュース 2020.9

こたえ：ひだりがあたま！



名阪食品株式会社
<http://www.meihan-shokuhin.co.jp/>
 〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1丁目25-1
 Tel 048-650-6682 Fax 048-650-6683

今回のテーマは「マナーをまもるとおいしいね」の中から
「どっちな？さかなのむき」をピックアップ！

いつも
どうやって
おいてるかな？



どっちが
あってると思う？

- 食事の配置ルールのひとつです。まずは、質問してみてください。
- お魚の向きを覚えるだけでなく、ごはん・汁物・おかずの位置の再確認をすると効果的です。
- 箸の向きも併せて確認してみましょう。

食事のマナーの基本 ~家族で食事をすることからはじめよう~

最近、子供の食事のマナーの悪さが目につき問題になっていますが、食育では、食事のマナーが規則正しい生活のための不可欠の要素と捉えています。特に子供のうちから食事のマナーを身に付けておくことが必要だと言われています。

食育の上で食事のマナーが大事なポイントとされるのは、子供が基本的な食事の仕方を覚える機会がなくなってきていることにあるようです。かつて、日本の家庭では、家族と一緒に食事することは、当たり前前の状況でした。家族と一緒に食事では、食事をしている時に、大人が子供にお箸の持ち方や茶碗の持ち方など、その時その時に注意することが出来、自然と食事のマナーが身に付いていました。

しかし、最近は孤食の状態の時代になって、子供が1人で食事をすることが増え、家族との食事の時間が減っています。子供がマナーに無頓着な食事の仕方をしていても、誰も注意する大人が廻りにいないのです。その為マナーを覚えることなく育つ子供が増えています。

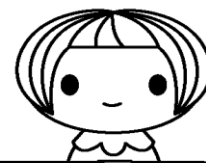
食育では、食事のマナーの基本は「お膳立て」と言われています。

お箸の置き方、お茶碗を置く場所、メインディッシュの皿を置く場所、魚はどちらに頭を、汁物の場所などかなり細かく決まっています。子供にとって「お膳立て」が何故必要なのかという理由をしっかりと伝えたいものです。ただ「行儀良くしなさい」では、子供は納得しないでしょう。

子供と一緒に食事をすることが「食育」の一つになるのです。

おとなの ぼんぼんニュース

2020.9



「食育は 幼児期から」

安全性や健康などの面から、多くの人が食育を意義のあるものだと考えているとのアンケート結果が挙がっています。食育を始める年代としてトップの割合を占めるのが「幼児期から」。食材の知識やマナーも含めて、今や注目されている教育分野です。

食のことわざ

「魚の目に水見えず 人の目に空見えず」

あまり身近すぎて、必要不可欠なもののありがたみが薄れているさま。

魚にとっての水、人間にとっての空気のように、当たり前のような存在で意識することがなく、大切さが分からないことをいいます。

日々の「当たり前」に目をむけてみませんか？



名阪食品株式会社

<http://www.meihan-shokuhin.co.jp/>

〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町丁目25-1

Tel 048-650-6682 Fax 048-650-6683